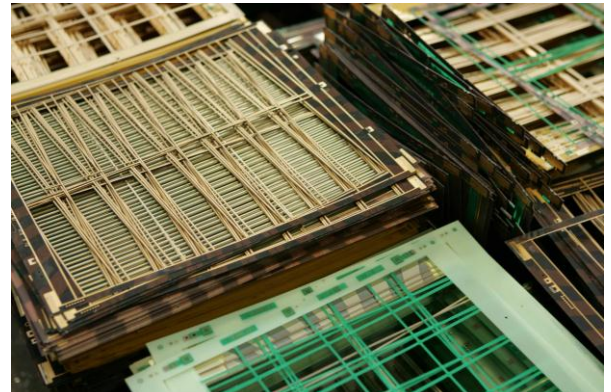


有価金属をマレーシア国内にて適正処理！

— 貴重な資源のリサイクルの仕組みつくり挑戦 —

国際協力機構 (JICA) は 11 月 14 日、「中小企業連携促進基礎調査」において株式会社アサカ理研 (代表取締役野納敏展) が提案する「e-waste からの有価金属回収事業調査 (中小企業連携促進)」(マレーシア国) を採択しました。

マレーシアでは、工場から排出される有害廃棄物は、環境規則、環境命令などにより適正に回収・リサイクルがされている一方、廃電気・電子機器等 (以下、e-waste) に含まれる有価金属は、まだリサイクルの仕組みが確立していません。特に家庭からの e-waste においてはその約半数がマレーシア国外の業者に流出しています。



【リサイクルできる有価金属】

上記のような課題に対し株式会社アサカ理研は、有価金属の回収技術やリサイクル業務の経験を活用し、e-waste からの有価金属回収のためのリサイクルシステム構築や、マレーシア企業・住民の意識向上のための取組みへの貢献可能性を本調査を通じ検討することとしています。また、調査の対象地域であるペナン州において、現地住民や現地 NGO と協力した技術協力プロジェクト実施の可能性についても調査することとしています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携促進基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2014 年度は本年 7 月に公示を行い、61 件の応募のうち 10 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。



Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 東北支部

TEL: 022-223-4772 FAX: 022-227-3090